

# 2018年度シラバス

開講時期	1年次通期		開講区分	留学生
科目名称	文章表現論			
担当講師	津山 隆雄	補助講師	—	
開講曜日	木	時限	2	
単位数	4	週時間 (45分)	2	
取得を目指す資格	必須	—		
	推奨	—		
授業概要・到達度目標	<p>比較文化論で培った読解・聴解・意見交流を基に、自分の考えを文章化していきま す。小論文作成が目標です。文章を書くことは自分の日本語の理解度が試されま す。中途半端な理解では書けないからです。書くことは自らの「主張」も育てま す。文章表現の上達は実際に書き続けること以外にありません、書き始めると必ず 進歩を実感します。合わせて漢字の読み・書きも学びます。</p>			
授業計画	4月	文章表現論での学び方を理解します。小論文の書き方、原稿		
	5月	用紙の使い方、漢字試験のやり方、短文づくりを通して文章 作成について慣れていきます。		
	6月	教材を用いて、日本人のものの見方・考え方に対して、自分自身の		
	7月	意見・感想を文章化していく練習を重ねます。		
	8月	夏休み		
	9月	所定の現用用紙の枠内に自己主張する経験を積むことで、書		
	10月	くことへの自信を深めます。ここが頑張りどころです。		
	11月	日本の習慣である年賀状に取り組みます。相手に対する思い		
	12月	を込めた文章を書きます。小論文については、様々な表現方 法についても学びます。		
	1月	これまでの学習から、どの程度小論文が書けるようになった		
2月	か、自己評価しながら更なる進歩を目指します。合わせて漢			
3月	春休み			
使用するテキスト	別途授業で配布する資料を使用します。生徒は教材を整理して大切に保管してくだ さい。復習。前期後期試験の時に大いに役立ちます。			
成績評価	出席率70%以上・授業態度・提出物・前期後期試験の結果により総合的に判断します。			
講師からの メッセージ	文章表現論は、小論文作成のために「継続して努力する」ことが求められます。毎回書くこ と・書いたものを提出することを求めています。それは、皆さんの書いたものを講師が転 宅し、それを受けて皆さんが書きづづける意外に進歩する方法がないからです。必ず1年 後の進歩を実感するはずですよ。			